

水彩画教室 「阿字ヶ浦駅/ひたちなか海浜鉄道湊線」

お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーション研究所

田中 千尋 Chihiro Tanaka

駅舎は描いて面白い題材の一つです 駅舎は駅の顔 いや鉄道の顔と言えるでしょう 駅舎を見れば 乗降客の規模や客層も 何となく想像できます この「阿字ヶ浦駅」は 少しくたびれたようなたたずまいです かつては上野から直通の長編成の海水浴列車も発着し 駅はごった返していたそうです またそういう列車が来ないかなあ と待っているようにも見えます 地方私鉄の多くが縮小や廃止になる中 ひたちなか海浜鉄道は この阿字ヶ浦駅から「国営ひたち海浜公園」までの延伸計画が決定しています 実にすばらしいことですな これからも応援したいです!



これが完成した絵です



1、雲(積雲)は最後にパステルで描きます その上に薄くジョンブリアン(肌色)を塗って そのあと影をつけます



2、赤い屋根は何度も塗り重ねて仕上げます 庇の下の影が重要です



3、窓枠は白の不透明ペンであとから描きましたが もう少し丁寧なほうが良かったです



4、駅名板は大切な要素ですが 字をペンで書いたのが失敗でした 面倒でも細かい筆で描くべきでした



5、波板のような仮屋根 この立体感をもう少し丁寧に描くべきでした



6、自販機も駅前らしさを表現しますが もっと古風な自販機を描けば良かったです